



学校図書館だより

12月号

令和5年12月
柏市立手賀中学校
学校図書館

師走になり年末に向けて街が華やかになりました。今年はどういう年でしたか。心に残る本との出会いがありましたか。今年の振り返りや来年への抱負を考えて、より良い年を迎えられるといいですね。

誰もが自分らしく生きる社会を考えよう

第75回 人権週間 12月4日～12月10日 「誰か」のこと じゃない。

人権は、人種、国籍、民族、子ども、高齢者、性別を超えて万人に共通した一人ひとりに備わった権利です。あなたは周りの「ひと」を大切にしていますか？私たちは皆、自分らしく生きていく権利を持っています。その権利は誰も侵害できません。一人ひとり顔や性格が違いうように、考え方や意見もそれぞれ違います。違う考えを知り、認め合っていきましょう。 出典：法務省 <https://www.moj.go.jp/>

今月のおすすめ

人権について考える本



『水を縫う』

寺地はるな：著 集英社〈NDC913〉

「男なのに」「女なのに」「愛情豊かな母親」「まっとうな父親」「いいお嫁さん」…。決めつけられた固定観念通りには生きられない、「世の中の“普通”を踏み越えていく」家族の物語。

『手で見ると世界は』

榎崎茜：作 くもん出版〈NDC913〉

4月から中学生の佑（たすく）は、都心にある視覚支援学校に通う。白杖を持って一人で歩くのはとても勇気のいること。晴眼者（目が見える人のこと）の心無い行動のせいで学校に通えなくなった同級生、双葉のことを心配している。



学校図書館よりお知らせ



☆新着本展示会☆

新しい本が入ります♪

12/8（金）～12/12（火）まで展示します。

新着本は、12/13（水）昼休みから貸出を始めます。



☆冬休み貸出☆

貸出冊数：ひとり5冊まで

※うち新着本は1冊

貸出期間：12/13（水）～12/19（火）

返却期間：1/10（水）～1/17（水）

※今借りている本は、返却日までに返しましょう。



12月1日は
「映画の日」

**映画の原作本を
展示中！**

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見夏衛：著 スターツ出版 〈NDC913〉

母とけんかをし、近所の防空壕跡に逃げ込んだ中2の百合。目を覚ますと、そこは戦時中の日本だった。通りかかった優しい青年、彰に助けられ、お互いに惹かれていくが、彼は特攻隊員で…。

『おしよりん』

藤岡陽子：著 ポプラ社 〈NDC913〉

今や、日本製メガネ枠の約95%を生産する福井県。明治時代、豪雪で冬の農作業ができない貧しい村に、新しい産業を根付かせようと、人生をかけてメガネ作りに挑んだ人々の物語。

『窓ぎわのトットちゃん』

黒柳徹子：作 講談社 〈NDC914〉

黒柳徹子さんが幼少時代を描いた自伝的小説。落ち着きがなく、小学校を退学になったトットちゃん。新たに通うトモ工学園の校長先生はユニークな教育と、深い愛情で導いてくれました。

★裏面に「名作まちがいさがし」あり★